



社会医療法人
美杉会

佐藤病院

前立腺肥大症 に対する

最新のレーザー治療 を始めました

当院はこれまでのレーザーと革新的に異なる**バーサパルスレーザー**（ホルミウム・ヤグレーザー発生装置）を導入しました。この装置を用いた前立腺腺腫核出術では、従来の標準的な経尿道的前立腺切除術に比較して**非常に少ない出血量と、完全な腺腫の核出を実現**。前立腺肥大症に対してより低侵襲な手術が可能です。

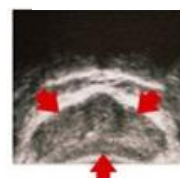
こんなお悩みございませんか？

- ☑ 排尿後、まだ尿が残っている感じがする（残尿感）
 - ☑ トイレが近い（頻尿）
 - ☑ 排尿中に尿が途中で途切れる（尿線途絶）
 - ☑ 急に尿意をもよおし、我慢できない（尿意切迫感）
 - ☑ 尿の勢いが弱い（尿勢低下）
 - ☑ お腹に力を入れないと尿が出ない（腹圧排尿）
 - ☑ 夜中に何度もトイレに起きる（夜間頻尿）
- ⇒ 一つでもあてはまる事があれば、前立腺肥大症の可能性が
あります。お気軽に当院 泌尿器科までご相談ください。

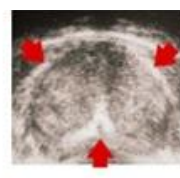
前立腺肥大症とは

加齢現象のひとつとして起こる良性の腫瘍です。55 歳以上の日本人男性約5人に1人は前立腺肥大の症状があります。排尿がスムーズにいかなくなることで、日常生活に大きな支障をきたします。

正常な方



前立腺肥大症患者



バーサパルスレーザー
（パルス120H）

バーサパルスレーザーとは、泌尿器科領域の様々な症例に対応するマルチパフォーマンスレーザーです。

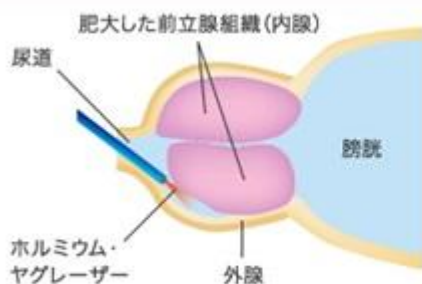
前立腺肥大症に対する治療だけでなく、尿路結石症にも有効です。あらゆる種類の尿路結石を破砕することが可能で、また、レーザーの衝撃波は灌流液に吸収されるため誤照射による組織傷害の可能性も少なく、尿路結石破砕術に適したデバイスとなっています。

その他、腫瘍切除、尿管狭窄の治療など、幅広い用途に対応でき、患者さんにとって、より一層身体への負担の少ない、確実な治療をご提供できます。



バーサパルスレーザーによる前立腺肥大症治療イメージ

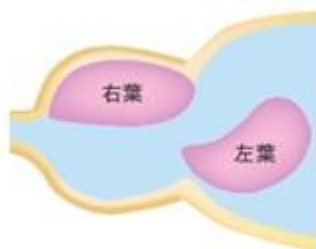
1



肥大した前立腺の内腺と外腺の境目にホルミウム・ヤグレーザーを照射し、内腺のみをくりぬくように核出します。

術中の出血を抑えます。

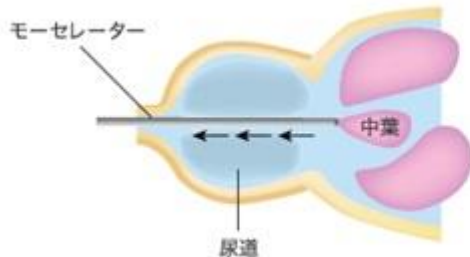
2



核出した内腺を、膀胱内に移動させます。

腫大した前立腺結節を完全に除去します。

3



前立腺組織をすべて膀胱内に移動させた後、モーセレーターという機器を用いて、前立腺組織を細かく切断しながら吸引し、体外に排出します。



院長 河合泰博

前立腺肥大症は良性腫瘍で転移はしませんが、肥大が進むと尿道や膀胱を圧迫して、排尿障害がおきやすくなります。前立腺がんは悪性腫瘍で、骨やリンパ節などに転移することもあります。当院では、前立腺肥大症にはバーサパルスレーザーを、前立腺がんには最新の IMRT（強度変調放射線治療）が可能な医療設備を揃えています。

当院、放射線治療科では高精度放射線治療装置 Novalis TX による前立腺がんの IMRT も行っています。

前立腺肥大症でお悩みの方は、当院、泌尿器科までご相談ください。



社会医療法人美杉会
佐藤病院 泌尿器科

枚方市養父東町 65-1
☎072-850-8711(代表)
<http://misugikai.jp>

医師紹介

西村 昌則 (部長)	日本泌尿器科学会 認定専門医・指導医 臨床研修指導医 医学博士 緩和ケア研修会修了	京 都 大 (昭和 59 年卒)
---------------	---	------------------